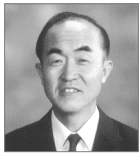


第1回定例 議会報告



金子卓



堀江鶴治

市民の切実な願い

「東海第2原発の再稼働を認めない意見書提出を求める陳情」
「中学校卒業までの医療費無料化を求める請願」を

多数で「趣旨採択」

※「趣旨採択」とは、願意は妥当であるが実現性の面で確信がもてないといった場合にとられる決定の方法「乱用してはならない」（地方議会運営辞典）

東海第2原発の再稼働

2012年の第2回定例議会（6月議会）に、新日本婦人の会が中心になって1066人の署名を集めて提出された『東海第2原発の再稼働を認めない意見書』提出を求める陳情書は、今議会で採決に付されました。

採決に先立ち金子卓議員は、日本共産党市議団を代表して「採択すること」に賛成する討論をおこないました。陳情を「不採択」とすることの討論をおこなったのは公明党の仲田好一議員と小森敏雄議員でした。「趣旨採択とすること」に賛成する討論は大貫道夫議員がおこないました。2年近くも継続審査となっていたこの陳情は、審査した総務常任委員会でも本会議でも「意見書を提出しない趣旨採択」とされてしまいました。が、みなさんの声は着実に議会の力関係を変えてきています。

2011年12月議会に出された東海第2原発の廃炉を求める請願や陳情は、共産党議員のみの賛成

第1回定例議会は、2月27日から3月24日まで開かれました。

予算審査特別委員会で審査された新年度予算案に対し、日本共産党市議団は、公共料金や学校給食費等に消費税増税分を転嫁した一般会計予算、高い国保税の国保特別会計・介護保険特別会計、高齢者を差別する後期高齢者医療特別会計、市町村設置型の浄化槽設置を休止してい

で即「不採択」でした。しかし、今回の陳情は、即「不採択」にするわけにはいかず2年近くも「継続審査」。しかも委員会では共産党以外の委員も「採択」を主張しました。

そして今議会最終日、「趣旨採択」とされた直後に日本共産党市議団が他議員の賛同を得て議員提案した国と県あての「東海第2原発の再稼働を認めない意見書」には共産党市議団の2人以外に3人の議員が賛成するにいたりしました。これは大変大きな変化です。

東海第2原発は稼働35年が経過し、しかも、3・11大地震で損傷した箇所が多数ある老朽原発です。また、常陸大宮市を含む30キロ圏内には約98万人も住んでいて、実効ある避難計画など不可能です。市民の安全を一番に考えるなら「再稼働しないで、廃炉」以外の選択は絶対に考えられません。

私たち日本共産党市議団は、東海第2原発を再稼働させず廃炉にさせるため引き続き全力でがんばります。



子どもの医療費無料化

前回市議選で公約に掲げた子どもの医療費助成は、昨年7月から小学校卒業までに拡大することができました。そして、この3月議会に新日本婦人の会が中心になって集めた1659人の署名を添えて「中学校卒業までの医療費無料化を求める請願」を日本共産党市議団が紹介議員になり提出しました。

請願を審査した文教福祉常任委員会では「採択」が3人、「趣旨採択」が3人の同数となり、委員長判断で「趣旨採択」となりました。最終日の本会議で、日本共産党の堀江鶴治議員はこの請願を採択し中学校卒業までの医療費無料化に踏み出すべき」と主張しましたが、多数で「趣旨採択」とされてしまいました。

子どもの医療費は県内では44市町村中すでに31市町村が中学3年生まで助成しています。子育て支援、少子化対策を言うなら直ちに実施すべき課題です。日本共産党市議団は実現に全力をつくします

いた「東海第2原発の再稼働を認めない意見書提出を求める陳情書」も、多数で意見書を提出しない「趣旨採択」となっていました。

介護職員の処遇改善を求める陳情書は全会一致で採択され、意見書が安倍総理大臣等に提出されました。要支援者を介護予防給付からはずすことに反対する請願と陳情は継続審査となりました。

アンケートのご協力 ありがとうございました

みなさんからのアンケートは、市全体で894通の回答がありました。寄せられたご意見は市議団の議会活動にしっかり生かしていきます。これからも、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

日本共産党 常陸大宮市議会報告

2014年4月 第30号 発行/日本共産党常陸大宮市議団

金子卓(岩崎272-4) 堀江鶴治(大岩23)

☎(52)2422 ☎(56)3030

日本共産党の見解をお知らせします

日本共産党 常陸大宮 演説会

5月25日(日)

入場無料、どなたでも参加できます

主催/日本共産党常陸大宮市委員会



塩川衆院議員
がお話しします



午後1時30分～
緒川総合センター



塩川てつや衆議院議員
堀江かくじ市議会議員



午後3時30分～
常陸大宮文化センター



塩川てつや衆議院議員
金子すぐる市議会議員

東海第2原発は再稼働させず、廃炉に！

2年前に1,066人の署名を添えて市議会に提出された『東海第2原発の再稼働を認めない意見書』提出を求める陳情は、議員多数で「意見書を出さない趣旨採択」にされてしまいました。

私は採決に先立ち「陳情を採択し、意見書を提出すべき」と主張。そして、「趣旨採択」とされた直後に堀江議員と他の議員の賛同も得て、国と県あての「東海第2原発の再稼働を認めない意見書」を議員提案しました。

市民の安全を思うのであれば、再稼働させず、廃炉にする以外ありません。

日本原子力発電株式会社(日本原電)は4月17日、東海第2原発立地・周辺11市町村長を対象に「適合性審査申請」に関する説明会を開催、審査申請をしようとしています。日本共産党県委員会は18日、日本原電に対し再稼働の準備そのものである「適合性審査申請」を中止するよう申し入れました。私も日本共産党常陸大宮市議団を代表して申し入れに参加しました。

私と堀江議員は18日の午後、市長に対して「適合性審査申請」の中止を求めるよう文書で申し入れました。また、議長に対しては、意見書こそ出さなかったが陳情を趣旨採択した議会として、「適合性審査申請」の中止と当議会への説明を求めることを申し入れました。

私は、東海第2原発を再稼働させず廃炉にするため、引き続き全力でがんばります。



中学校卒業まで医療費無料に！小中学校教室にエアコン設置を！

市当局は“財源”を問題にしていますが、これはとてもおかしいと言わざるを得ません。常陸大宮市の子どもの医療費は現在小学校6年生までは無料(所得制限と入院は自己負担あり)です。県は、今まで小学校3年生までだった医療費助成を、今年10月から外来は小学校6年生まで、入院は中学校3年生まで助成を拡大します。したがって、これまで市が独自に出していた小学校4年生から6年生までの財源を、中学生に振り向ければ中学校卒業まで無料にできます。

子どもの医療費は、県内では70%の市町村が中学校卒業まで助成しています。所得制限も30市町村が撤廃しています。これらの自治体は財政が豊かだから実施しているわけではありません。子育て支援・少子化対策を言うのであれば「直ちに実施すべき課題」です。私は引き続き実現に全力をつくします。

また、3月議会で取りあげました小中学校の教室へのエアコン設置ですが、ますます“暑い夏”が予想され、この問題も切実です。家庭も市の施設もエアコンは当たり前になっています。学校の職員室にもあります。なぜ教室にないのでしょうか。子どもたちが学習に集中できるように、小中学校の教室へのエアコン設置を求めがんばります。



4月20日、県民文化センターで小池晃党副委員長・参院議員を迎えての日本共産党演説会。会場は満席となり、熱気に包まれました。12月におこなわれる県議選と常陸大宮市の金子・堀江両議員など来年4月までの予定候補者が紹介されました。(写真は演説会会場の大ホール)

お気軽に相談を

仕事・くらしの悩み



日本共産党

連絡先 ケータイ
金子すぐる議員
090-1994-7696

がん検診の無料化で受診率アップを

2月20日付「茨城新聞」一面に「がん検診受診率向上へ連携」との記事が載っていました。新聞には、県内人口10万人当たりのがんによる死者は増加の一途をたどっていると書かれています。

私は、当市のがん検診の受診率を質問。がん検診の料金を無料化して、がん検診の受診率のアップをはかり市民の健康づくりを推進するよう求めました。

答弁によると、平成24年度の市の40歳以上の受診率は、胃がんが18.1%、大腸がんが27.2%、肺がんが38.0%、子宮がんが19.5%、乳がんが27.3%です。



消費税8%
黙っていたら10%

「政府は来年10月には10%引き上げをねらっている。いま声をあげなければ、際限のない「増税地獄」にひきこまれる」と訴える志位委員長(写真)



大増税路線を
ストップさせよう
日本共産党